

# 深谷市の河川

深谷市の河川は、南部が荒川水系、北部が利根川水系と二つの水系となっています。

荒川水系の主な河川には荒川、吉野川、亀住川があり、利根川水系では利根川、小山川、清水川、福川、唐沢川、志戸川、藤治川などがあります。

荒川水系では市南部の川本地区、花園地区に数本の河川が荒川に注いでいます。主な河川は吉野川と亀住川です。吉野川は、寄居町富田地区付近から始まる小河川で、荒川の蛇行部に自然合流しています。亀住川は、市内最高峰の鐘撞堂山から発し、途中から蟹沢排水路と名称を変え、荒川に注ぎます。

利根川水系では、西部の岡部地区に志戸川、藤治川、福川が小山川に合流し、ほぼ中央部の藤沢地区、上柴地区で数本の河川が唐沢川に合流します。また、妻沼低地では、清水川が小山川に合流します。

櫛挽台地から妻沼低地へ流れる小山川は、皆野町の北部に源を発し北東に流れ、本庄市、児玉郡美里町を流れ東へ転じて、深谷市北部を流れ熊谷市間々田付近で利根川に合流します。清水川は、本庄市滝瀬を源流とし八基下手計地内を大きく蛇行し、小山川に注ぎます。



櫛挽台地縁辺を流れる福川は、深谷市岡を起点とし、流路は小山川の南側1.5Kmに並行して、深谷市、熊谷市と東に向かって流れ、最後は行田市酒巻で利根川の右岸へ合流します。以前は途中で唐沢川が合流し、下流域は洪水の被害に度々ありましたが、昭和の初期に伏越の工事を行い現在では立体交差し唐沢川は直接小山川に合流しています。

志戸川は、埼玉県児玉郡美里町広木の山中より発し、幾つかの小河川を合流して志戸川となります。美里町、深谷市の田園地帯を流れ、深谷市西田付近で小山川に合流します。

藤治川は、寄居町用土の櫛挽面頂部を水源とし、山崎山丘陵を回り込み志戸川に合流します。

櫛挽面の標高70m付近からは、唐沢川、前の川、押切川、上唐沢川が北流しています。かつては、上唐沢川は台地を下り、直接福川に合流していましたが、福川の増水を防ぐため、下唐沢川と合流させ、小山川に直結させました。

櫛挽面には、現在では枯れてしまった谷筋が見られ、台地を開析する浅い谷が幾筋も発達していたものと考えられます。また、櫛挽面と妻沼低地の境界付近には、先端湧水と認められる池等も認められます。